



かたぐい



令和4年度
第47号

2023.2.9

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

「全校読み聞かせ」

本校では、仙北市読み聞かせボランティア「ひまわりの会」のご協力により、月に1～2回、水曜日に「読み聞かせ」を実施してきました。

8日（水）に、今年度の最終回の読み聞かせを全校児童を対象に行いました。最後の読み聞かせでは、ひまわりの会手作りの「紙芝居」を使って『パチくりくんのぼうけん』（紙風船上げを題材にしたお話）と『火の鳥』（尾去沢鉱山発見に関する昔話）の2作品を聞かせてくださいました。

今回は、ひまわりの会4名の方々に実施していただきました。大きな紙芝居のセットを使って、しっとりとした語り口調でお話いただき、1年生から6年生まで、じっくりとお話を聞くことができました。終了後には、全校を代表して6年のI.Mさんがお礼の言葉を述べてくれました。

今年度の読み聞かせは、今回で最後となりましたが、子どもたちも楽しみにしていますので、来年度も継続して実施していただく予定です。



「新入学児童交流会」

同じく8日（水）に、新入生の入学説明会が行われ、その際に、5年ジャンプ学年が新1年生18人と交流活動を行いました。昨年度はコロナ禍で実施できなかったのが2年ぶりとなります。ジャンプ学年の手作り名札と1年ハッピー学年の子どもたちが作ったメダルをかけてもらった新1年生は、緊張感もとれて嬉しそうにしていました。その後、5年生とともに各教室で勉強しているお兄さん・お姉さんたちの様子を見学したあと、5年生が準備してくれた「塗り絵」と「射的」のコーナーで十分に楽しみ、最後は全員で「じゃんけん列車」をしました。活動を担当した5年生は、常に新1年生に寄り添い笑顔で接することができていました。その姿はもう立派な上級生。自分たちが6年生になった時のあるべき姿をイメージすることができているように思えました。そして、ジャンプ学年の子どもたちが、最上級生である6年すくすく学年のがんばりを引き継ぐ準備もできてきていると感じました。

